

秋山庄太郎
「ジブシーローズ
新宿・どん底で」
1956年(部分)



奈良原一高
「消滅した時間」より
インディアン村の二つのゴミ罐、ニュー・メキシコ 1972年

「日本の写真—内なるかたち・外なるかたち」の第2部は、第1部の渡来期から終戦までにひきつづき、終戦から1970年代までの日本の写真史を代表する作品を紹介します。

1945年8月15日。多くの犠牲をはらった太平洋戦争は、日本の敗戦をもって終結しました。たゞ重なる空襲で大都市圏のほとんどが焦土化し、人々は焼け野原から復興に向けて歩みはじめます。そして1950年代末から60年代にかけて、驚異的なスピードで日本は世界にも例を見ない経済成長を遂げました。その発展の軌跡の中で、日本の写真表現も様々な変遷をとげます。それまで一部の写真愛好家や雑誌に限られていた写真は、言論の自由を謳歌してはじめたグラフジャーナリズムの勃興やマスメディアの普及、また写真技術や材料の向上によって、より人々の生活に密着した表現となりました。

本展覧会では、大きく二つの構成で日本写真史を概観します。ひとつは焦土の東京の記録からはじまり、時代の波に翻弄されながらも逞しく生きる人々の生活や風俗、時代を表す社会現象を写しとどめた作品群を紹介します。そして後半では戦後の重圧から解放され、独自の表現を獲得した作品群を紹介します。の中でも時代の寵児としてコマーシャルや雑誌を舞台にはばない活躍をした作家の作品、高度経済成長によって肥大した都市生活の表層をするほど描き出す作品などは、1960-70年代の日本の写真表現を大きく特徴づけるものです。

第2部「戦後写真の変容」では、写真家たちが戦後から70年代までにどのような表現を獲得してきたかを、53人による151点で考察します。



◆利用案内

観覧料一般・大学500[400]円 小・中・高校生250[200]円

(内は、20名以上の団体料金(地下)階映像展示室の観覧料を含みます)

65歳以上の方及び心身障害者で、その証明書をお持ちの方は無料となります。

開館時間 10:00-18:00(木・金のみ20:00まで)入館は閉館の30分前

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

◆毎月第2・4土曜日は、小中高校生の常設展観覧は無料です。



◆地下1階映像展示室のご案内

映像工夫部屋 テーマⅢ 3D ステレオを超えて 9/23まで開催

作品展 3D LAB. part② 「裸眼と歩行」 7/28まで開催

3D LAB. part③ 8/1~9/23

◆次回常設展示予告

日本の写真 第3部 現代の景色 1980s-1990s 9月28日(土)~12月27日(金)

◆会場中に担当芸員によるプロアフレクチャーを開催します

毎月第三土曜日 午後2時より



東京都写真美術館
〒153 東京都目黒区三田1-13-3
Tokyo Metropolitan Museum of Photography
1-13-3, Mita, Meguro-ku, Tokyo, 153 Japan
展示会のご案内 03-3272-8600 ハローディヤル

平成8年度常設展

日本の写真

内なるかたち・外なるかたち

第2部 戦後写真の変容 1945-80

Japanese Photography

—Form In/Out

Part 2:

The Transformation of Photography
in the Post-War Era; 1945-80

J
A
P
A
N
E
S
E

PHOTOGRAPHY

1996年7月5日[金]~9月23日[月]

3階常設展示室

主催 東京都写真美術館

出品作品リスト

秋山庄太郎 AKIYAMA Shotaro (1920-)

1 ジブシーローズ 新宿・どん底で 1956 257×381

2 山本富士子 1960 380×254

3 吉川英治 1963 450×301

4 川端康成 1972 450×302

荒木經惟 ARAKI Nobuyuki (1940-)

センチメンタルな旅 より

5 1970 234×355

6 1970 234×355

7 1970 234×355

石井幸之助 ISHII Kuniaki (1916-)

佐藤宗作 1970 303×239

9 田中角栄 1972 303×239

石川洋文 ISHIKAWA Bony (1938-)

10 飛び散った兵士 タイニン省 1967 370×247

石元泰博 ISHIMOTO Yasuhiro (1921-)

柱 より

11 古書院二の間南面・一の間と回り裏の間を望む 1954 370×247

12 古書院御所前中坪の延段・石と苔 1954 370×247

13 中書院東庭から東庭の間にて新御殿を望む 1954 247×370

岩宮武二 IWAMIYA Takeji (1920-89)

14 マスク 1955 280×268 ナバクローム・プリント

15 マスク 1955 301×205

16 日没 1946 330×160

種田正治 UEDA Seiji (1913-)

17 撮影する上門拳氏 1949 252×248

18 少女群像 1950 201×292

大辻清司 OTSUJI Kiyosi (1923-)

19 美術家の肖像 1953 309×227

20 陳列室 III 1956 240×240

岡村昭彦 OKAMURA Akisaku (1929-85)

21 Yamane #1 1963 203×313

22 Yamane #10 1964 218×315

小川龍之 OGAWA Takyuki (1936-)

New York b より 1967

23 1967 259×334

24 1967 252×335

25 1967 255×335

川田喜久治 KAWADA Kikuo (1933-)

地図 より

26 日の丸の旗 1960-65 290×370

27 コカ・コーラ 1960-65 290×370

菊池復吉 KIKUCHI Shunkichi (1916-90)

28 銀座 1945-46 217×308

浮浪者収容施設の栄養失調児 1945 235×308

北井一夫 KITAI Kazuo (1944-)

三里塚 より

30 少年行動探偵成の日 1970 259×380 作家蔵

31 立ち入り測量の日 1970 259×380 作家蔵

32 代執行の日 1971 259×380 作家蔵

33 代執行の日 1971 259×380 作家蔵

木村伊兵衛 KIMURA Ihei (1901-74)

34 新橋・ヤミ市 1945 250×375

35 新橋・ヤミ市 1945 373×298

36 谷谷駅 1948 248×372

金田精二 KURATA Seiji (1945-)

FLASH UP より

37 池袋 1976 504×402 作家蔵

38 池袋 1975 504×400 作家蔵

39 新宿 1979 507×343 作家蔵

40 池袋 1975 504×404 作家蔵

桑原史成 KUWAHARA Seiichi (1936-)

水俣病 より

41 湯堂の漁師夫妻 1960 315×465

42 意識不明の少女 1962 315×465

43 水俣市立病院 1960 360×242

44 「成人の日」の祝い 1977 315×465

小島一郎 KOJIMA Ichiro (1924-64)

津軽 より

45 津軽 1958 280×200

46 中里から北・津軽郡十三村の間 1960 195×302

47 中里郡十三村から鶴見 1960 195×310

佐藤 明 SATO Akira (1930-)

48 冷たいサンセット 1960 345×520

49 「サイロビアン」より 笑う 1960 520×345

篠山紀信 SHINONAYAMA Kiyoshi (1940-)

50 怪談 1968 290×303 チバクローム・プリント

51 アドバリーン 1966 288×305 チバクローム・プリント

52 アドバリーン 1966 240×303 チバクローム・プリント

53 「武藏野」より 始先の梅の花と足袋はし 1955-56 280×365

54 「武藏野」より 雪の雜木林 1955-56 388×560

55 花に浮かれる 宮城・金華山 1955 242×359

須田一政 SUDA Issa (1940-)

墨豪花伝 より

56 山形・銀山温泉 1976 330×330

57 塚主・越生 1976 330×330

58 次城・阿字ヶ浦 1977 330×330

59 田中・西馬音内 1976 330×330

高瀬 雄 TAKANOSHIO Yutaka (1933-)

東京人 より

60 新宿・角筈のビュッフェとや 1966 202×305

61 新宿駅西口広場 1966 200×305

62 船橋駅ヘルスセンター 1966 200×305

立木義浩 TATSUKI Yoshiaki (1937-)

古出人大使 より

63 1965 320×488

64 1965 313×466

65 1965 320×427

66 1965 455×315

田中徳太郎 TANAKA Tokitaro (1909-89)

白鳥 より